

矢作川流域圏懇談会通信

R5 流域連携 vol. 1



発行日：令和5年9月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆2023 矢作川感謝祭に参加しました！

当日は午後に少雨が降ったものの、多くの方が来場されていました。ご家族連れが多く見られ、開催されたワークショップの他、魚に触れる海の水族館、ジャガイモの苗の植え付けなど、“矢作川を体験する”遊びに興じられていました。矢作川流域圏懇談会は、昨年度から「矢作川に関する意見募集」を行い、会場の皆さんから矢作川に対する様々な思いを伺う事が出来ました。また、懇談会に所属する矢作川水族館、矢作川森林ボランティア協議会、おいでん・さんそんセンターなども参加し、感謝祭を盛り上げました。

日程：令和5年9月10日（日）、参加人数：10名（事務局を含む）

場所：千石公園（豊田大橋下）



開会の挨拶を行う矢作川感謝祭実行委員長

◆イベントの目的と矢作川流域圏懇談会の参加について

1. イベントの目的



矢作川流域の課題を今一度再認識するとともに、矢作川流域の自然の恩恵にあらためて感謝し、その実力と魅力を多くの人々に伝え、共感と行動へとつなげることを目的とする。

（矢作川感謝祭HP「開催目的」より抜粋）

2. 矢作川流域圏懇談会の紹介



■矢作川流域圏懇談会の活動紹介

今年の矢作川感謝祭では、出展したブースにて矢作川流域圏懇談会の活動紹介を行い、活動内容や意義を参加した人たちに知ってもらうことができました。

■矢作川への意見募集

矢作川懇談会クイズと併せて、流域地図を用いて矢作川への意見募集を行いました。会場を訪れた方々にインタビューを行い、53もの意見を伺う事ができました（複数回答あり）。

・あなたにとって矢作川とは？

→癒し、魚の住みやすい場所、釣り、生活を支える川、日常、など自然や生活・遊びに関する意見が多かったが、カップがいるという興味深い意見もありました。

・矢作川をどのように利用していますか？

→川遊び、釣り、デイキャンプ、イベント、つくしとり、など遊びの場所に関する意見が多く、自然と触れ合う遊びの場として利用されていました。

・あなたが感じる矢作川の心配事とは？

→堤防の決壊、大雨の水害、川の氾濫、など全国的に大雨による災害が増えていることもあり、水害を気にしておられる方が多いですが、アユやホタルの減少など環境問題を気にされている方もおられました。



矢作川意見募集の様子



流域圏懇談会クイズをしている様子



魚のペーパークラフト

3. 矢作川流域圏懇談会 出展状況



流域圏の一体化をめざし、以下の内容で参加しました。

■根羽村森林組合

矢作川流域の木を自分でくりぬき、かわいいペンダント作り。
木で出来たおもちゃ、大きな将棋やオセロ、弓矢の的当ての展示

■矢作川水系森林ボランティア協議会

斧を自ら使ってスギの薪割り体験

■矢作川水族館

トンボロ干潟で採取したハゼ、タイザンガザミの展示や、サメやフグに触れる水槽に
矢作川・三河湾の生き物を展示

■河畔林観察会

矢作川研究所の洲崎燈子氏による矢作川の河畔林のガイドツアー

■おいでん・さんそんセンター

活動紹介・いなか暮らし相談



木のペンダントづくり



木のおもちゃ



矢森協による薪割り体験



矢作川水族館による生き物展示



河畔林観察会

4. 矢作川感謝祭の開催風景



たくさんの方で賑わっていました。



“とよた〇〇マルシェ”と同時開催で、
様々なお店が出展されていました。



懇親会以外にも、様々な催しが行われました。

【矢作川感謝祭を通じて懇談会メンバーが感じた事】

- ・流域地図を使った意見募集は、懇親会メンバー以外の方の思いが集まるので今後も行いたい
- ・参加者は少なめだったが、流域の人の関係を繋ぎとめるイベントとしてはとても充実していた
- ・出展者同士の横のつながりができて、スタッフとしては最も得るものが多い年になった

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 蔭山、建設専門官 宮本、技官 松田
TEL 0532(48)8107

*矢作川に関する情報は、国土交通省豊橋河川事務所流域治水課 (cbr-toyo-chousa1@mlit.go.jp) までお送りください。

